

島田市の教育理念

「地域総ぐるみで進めましょう ^{ゆめいく} 夢育・^{ちいく} 地育の花咲く 島田の教育」

— 学校・家庭・地域が一体となって、理想とする教育を目指す —

○ 理念実現のための基本的方向性（5項目）

1. 地域が主体性を持って教育に参画し、学校と協働して共に教育を支えるしくみを整える。
2. 地域の文化や伝統を継続するために、地域が主体性を持って教育機能を分担するしくみを整える。
3. 就学前からの家庭教育を地域全体で支えるしくみづくりを進める。
4. 今後必要とされる学校再編については、適正規模や学校施設の老朽化の状況などを考慮するとともに、地域の生活や文化・伝統の存続及び活性化を島田市全体で支えるという前提のもとに、これを検討していく。
5. 以上を実現していくため、学校・地域それぞれにおいて、組織のあり方を必要に応じて見直し、力を集約して改善に当たる方策を検討し、島田市（市長部局）と島田市教育委員会とは協力してこれを支えていく。

○ 理念実現に向けた手立て（4項目）

1. 将来の夢を育て、夢によって成長する子供を育て「夢育」の中核的活動として、英語教育や先進科学技術教育・ICTの活用などを推進し、これらを学校の諸活動と関連づけることで、世界的な視野をもち市民性豊かな子供を育てていくための教育を充実させる。
2. 地域に根ざして成長し、自ら地域を育てていく子供を育て「地育」の中核的活動として、就学前から学齢期までの成長プロセスを通して、地域の特色・魅力づくりに関係していくための活動を導入し、地域・家庭・学校それぞれの役割を明確化し、これを足かぎりに子どもの成長環境の改善を図る。
3. 今後、学校教育に課されることが予想される「社会に開かれた教育課程」、「アクティブ・ラーニング」、「カリキュラム・マネジメント」、「コミュニティ・スクール」、「チーム学校」、「小中一貫教育」等の課題に対し、個別に対応していくのではなく、これらの課題を有機的に関係づけ、核を形成して対応していく。
4. 児童生徒の教育環境充実の観点から学校再編を検討し、学校建築の工夫も含めて学校配置の最適化を模索すると同時に、当該地域の文化・伝統の維持や地域活性化を図っていく。

初倉地区小学校再編意見交換会アンケート結果(H30.12.17実施)

n=39

●問1 お住まいは？

井口	南原	岡田	月坂	その他
16	16	3	3	1

●問2 年齢

10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
		2	7	5	25

●問3 性別

男	女
29	10

●問4 本日の説明について

理解できた	ある程度理解できた	あまりわからなかった	わからなかった	未回答
7	23	4		5

●問5 説明でわからない点など

- ・今回、初倉南小学区に関しては、急ぎすぎると思う。
- ・児童の父兄に対してもっとしっかり説明が必要だと思う。(一部の人にしか届いていない)
- ・統合ありきの説明であったようだ。何故等の理由がほしい。
- ・説明が全て再編に向けての意見に聞こえた。
- ・教育環境適正化検討委員会の言見が全てだと思う。(提言書7ページ)
- ・説明が一方通行に聞こえた。
- ・2段階から3校同時となった理由がわからない。

●問6 学校再編に当たって重視すべきことは？

地域文化の継承	地域住民と子供のふれあい	学校行事	地域の拠点としての教育施設の維持	学校施設整備の充実	特色のある教育	子供同士の切磋琢磨	小中の連携	登下校の安全・利便性
5	9	3	12	18	7	19	14	30

●問7 3校同時統合することについてどのように思うか？

賛成	反対	どちらでもない	未回答
18	9	9	3

●問8 平成34年統合に時期はどうか？

ちょうどよい	早すぎる	遅すぎる	わからない
11	3	2	11

● 問9 いつ頃の再編であれば良いか。その理由は何か？

- ・2020年度ごろが良い。初倉南小をつくる必要はなかった。初倉小でよかった。
- ・H37年度ごろが良い。
- ・地区の住民に説明してから、知らない人がいないようにしてから、いくら説明しても賛成、反対の人はいると思うので全員の賛成はないと思うが、各地区町内会の回覧板につけてまわしてほしい。
- ・2024年度ごろが良い。2年で準備できるというが、保護者や地域の意識の醸成に時間を要すると思う。
- ・H37～38年度ごろが良い。初倉全体にいい意味での周知を図りながら、じわじわ温めた方が良くと思う。

● 問10 反対の理由は何か？

- ・人口の変動を見て、初倉南小の人数が1クラスに近くなってからでよい。
- ・同時統合の再検討をお願いしたい。
- ・交通事情が整っていない。
- ・お金のかからない年で統合ということで、子供最優先ではない。
- ・どちらにしても賛成、反対はあるので、市長の考えでやるしかない。
- ・子供の数をみると統合は必要ない。(初倉南小)
- ・メリットよりデメリットが多い。
- ・統合したときに放課後児童クラブはどうなるのか。人数は増やせるのか。
- ・(統合)前の学校で使っていたものは移ったときに使えるのか。
- ・年度別児童数を見る限り、初倉南小は人数が充分保たれているのに何故3校同時なのか。
- ・大人の都合で仕組まれているとしか思えない。
- ・1クラス編成ができなくなったとき(今の湯日小の状況)に初倉南小へ統合する案を出せばよい。
- ・無理やり押しとおそうとしないでほしい。
- ・急に話が出た事。もっと説明が必要。
- ・登下校の安全でまだ準備が万全でないと感じる。
- ・統合には賛成だが、初倉小より初倉南小の方が環境的に良いと感じる。
- ・湯日小の方々から見ると、初倉小でも初倉南小でもさほど変わらないように思える。
- ・子供たちの安全を考えれば、登下校にあまり時間をかけるのは良くないと思う。
- ・遠方の方には、スクールバスを出すのもよい方法ではないか。
- ・南原からもスクールバスがあるといい。
- ・スクールバスが無理なら、親の送り迎えが可能なロータリーを整備してほしい。
- ・見守隊は吉田町や焼津市ではあまり見たことがないので感動している。帰り道もお願いしたい。
- ・転入者を増やせばいいのでは。
- ・1小学校1中学校でなくても2小学校の連携を強力に築くことも教育モデルとしてよいのでは。
- ・保護者としては子供を命がけで守っていくつもりなので、その温度を理解してほしい。
- ・もっと慎重に協議してから進めてほしい。
- ・3校同時でなくてもいいと思う。基本的に初倉南小は存続していく努力をしてほしい。
- ・初倉南小の父兄、未就学児の父兄の意見を最優先に考えてください。
- ・時期尚早ではないか。
- ・特別支援学級は1つにしてあるのか説明がほしかった。
- ・市としては、人数推移が3校同時理由ではなく、小中一貫教育をやりたいという思いがあるのだと感じた。3校が統合されるのはやむを得ないと思うがタイミングが難しい。
- ・湯日小と初倉小の統合はやむを得ないと思うが、初倉南小3校同時統合についてももう少し地域住民の意見を聞いたほうがよい。提言書の意見のとおりだと思うので。
- ・3校が再編という話をこのたび初めて聞き何故？という思いで参加した。
- ・小中一貫教育という考え方がどんなにすばらしいことなのかもう少し学んでみたい。
- ・教育環境が大規模になることにメリットがあるとは思えない。
- ・子供の側にたったの細やかな教育は、中規模までのように思う。

初倉地区の学校再編についてのアンケート結果 (H30.12実施)

問1 お子さんの学年等は？

	初倉南小	保育園等	合計
2年	45	3	48
1年	51	6	57
年長児	2	20	22
年中児	6	23	29
年少児	6	18	24
年少児未満	4	19	23
未記入			

問2 3校同時統合について

	初倉南小	保育園等	合計
賛成	13	15	28
反対	47	35	82
どちらでもよい	31	22	53
未回答	1	1	2

問3 平成34年統合について

	初倉南小	保育園等	合計
ちょうどよい	9	7	16
早すぎる	7	2	9
遅すぎる	1	2	3
わからない	27	24	51
未回答	1	2	3

問4 いつ頃の統合がいいか

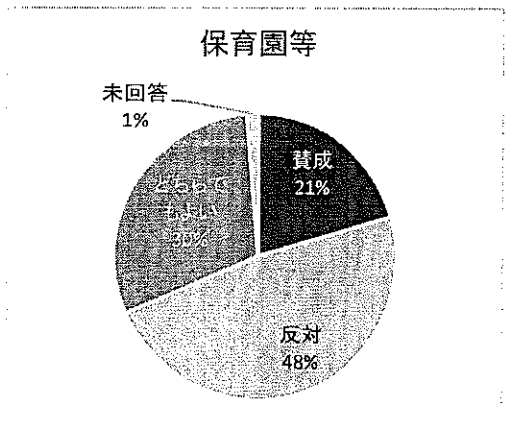
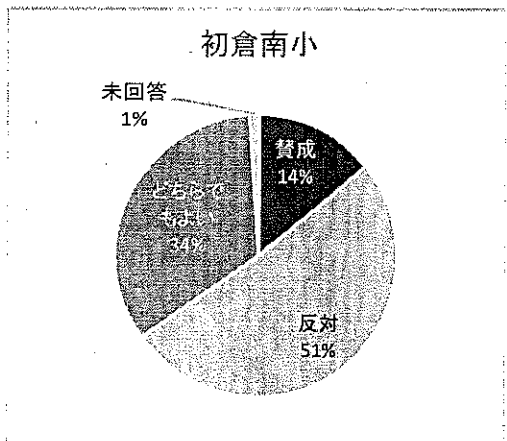
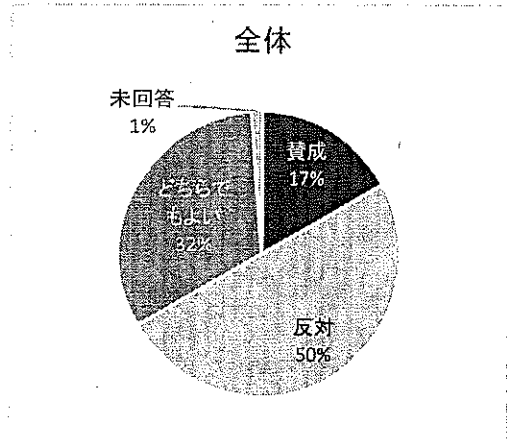
	初倉南小	保育園等	合計
回答	別紙のとおり		
理由			
未回答	3	2	5

問5 反対の理由は何か

	初倉南小	保育園等	合計
初小・湯日小が先行して統合	11	8	19
初小・初南小が先行して統合	0	0	0
初倉小と湯日小だけの統合	32	25	57
その他	7	5	12
理由	別紙のとおり		

<回答者数>

初倉南小	92
保育園等	73
合計	165



	初倉南小	保育園等	全体
賛成	13	15	28
反対	47	35	82
どちらでもよい	31	22	53
未回答	1	1	2
計	92	73	165

※賛成へは(賛成とどちらでも)の両方に○があったものを含む。

【問 4 再編の時期についての意見】

- 子供たちが過ごす教室や校舎が整い、各学校のすり合わせを十分予定できたら。
- 校舎ができて、子供たちの顔合わせや授業のすり合わせができたら。
- 3校の児童が適正な広さの教室、校舎ですごせるようになったら。建てかえず、狭いなら、子供が減ってきてから統合でもいいと思います。
- 東京オリンピックもある年に再編したほうが記念の年で子供たちもずっと心に残るような気がします。
- 3校同時は湯日小以外の生徒数が減ってからも良い気がする（初南小）
- 学校統合による影響の洗い出しと対応策を考えるのに3年間は短い気がします。登校・学童・PTA等の役員・行事等、学校生活とは直接関係はないけれど、話し合いや検討が必要な事柄がたくさんあると思います。メリット・デメリットの説明をきちんとして欲しいです。
- 校舎・通学方法・すべての環境を整えればいつからでもいいです。どの子供にも支障がないようにお願いします。（初倉地区に引越しを考えている為）
- 子供の通学距離が短縮され、通学路ルートも安全だと思います。

【問5 反対の理由】※一部賛成意見もあり

- 初小・初南小、両校とも1学年2クラスですが、統合した時は3クラスになるとききました。1クラスあたりの人数が増え、先生が目がどこまで届くか不安です。
- 3校を統合した時に初小へとなる時きましたが、現体育館ではせまいような気がします。建物的に準備ができてからのほうが良いと思います。”
- （統合の時期）子供の人数がかなり少なくなる前。同時統合するメリットがわからない。初南小に通っていて困ってないし、初南小の良さがある。H34年統合は委員会の都合としか思えない。
- 統合しなくていいと思います。説明会に行きましたが、納得できる内容ではありませんでした。
- （統合の時期）現状のままでよい。先生が目が届く少人数制での学校教育を望む。その方が細やかな指導ができると思われる。昔と違って交通量も多く、下級生を連れたの長時間の通学は危険が伴うため反対。
- 初南小の生徒数が減少し2クラスにするのがむずかしくなる頃（に統合）。
- （統合の時期）H37 3クラス編成になるのが37年度頃と説明があった為。2・3年で準備ができるのか疑問。
- 子供にとってのメリットがあまり感じられない為。もう少し子供によりそって考えてほしい。
- 初小・初南小が1学年1クラス程の人数になってから考え始めれば良いと思う。現状で困っている事はありません。統合する必要性を全く感じないです。近くの小学校ではなく、遠くの学校へわざわざ子供たちを通わせる事が『子供を優先にした学校づくり』ですか？昔と違い、不審者も増えてきています。初小まで通学すると、帰宅後、友人と遊ぶ時間や気力がなくなります。子供も初南小が良いと言っています。
- 統合するが大きくでていて具体的な内容が不明瞭。〇〇した場合△△にしていくなどの安心する説明がほしい。
- 「子供を最優先にした学校づくり」：学校再編の第一が「3校同時統合」であると考えないため。又、3校の統合を考える上で、その後初倉地区のビジョンについての具体的な説明が少ないため、見通しがもてず、不安になるばかりです。
- 今の時代と初倉地区の環境に合った学校教育と教育環境を、いち保護者として求めます。
- 少人数校の良さを求めて移住してくるご家庭もあるはずですが。10年後の初倉地区をどう考えて、現状がどうなのか、説明があるともっと考えられると思います。
- 統合しなくてよい。わざわざ人数を集めてふやして教育をするより、少人数でも行きとどいた教育をしてほしい。
- 学区の範囲が広くなりすぎ。
- もっと少人数になってから考えれば良いと思う。今のままでよいと思う。ほとんどの人が反対している様に思うけど、結局、反対しても統合させる動きにさせられる感じがあり納得できない。
- 全児童で多数決をとって決めれば良いと思います。

- アンケート結果を公開してほしい。
- 子供の数が2クラス編成に出来なくなるくらいに減っていないので必要性を感じない。
- それぞれの学校の良さがあり、統合する事によってすべて残す事は難しいと思う。
- 学校と地域の距離ができてしまったり、1校に子供の数が増えると、先生が目が行き届かないのでは？と心配。3校残す。
- 今のままで良いと考えています。子供たちにとってのメリットがあまり伝わってきません。説明会の話があまり良い印象で伝わってこなかったのです。
- (統合の時期)H37 説明会で3クラス編成になると言っていた年度が37年度位と言っていたので。
- (再編成の時期について)根拠がわからない。人数が減っていく等の資料を見せてほしい。
- (同時統合について)今の時点ではどちらとも言えない。(判断出来ない)
子供たちにとって3校統合が豊かな教育に繋がると考えた時には是非賛成の声を上げたいと思っています。
- 主役である子供たちにも理解が出来るシンプルな資料が欲しいです。
- ある程度決まってから時期を決めればいい。細かく、具体的な計画内容決定していない(決定しているが保護者に説明していないだけなのではないでしょうか)のに3年は準備期間として短いと思うので。
- 先に時期を決めるのはおかしいと思う。統合の良い面・悪い面があると思うが、統合についての詳細が全く分からない時点では反対です。初倉南小の現状に困っていること不満等がないので統合に反対です。
- まず最初に問題なのは登下校方法です。スクールバス？コミュニティーバス？出発時間は？バスだったら、どこから乗るのか？帰りは何本バスがあるのか？下校時に乗り遅れがないようにチェックするのか？費用面は？登下校だけでも不明点が多々あります。
- 先日の説明会に参加できませんでしたが、どんな話し合いだったのでしょうか？資料などありましたらいただきたいです。子供たちがよい環境で学校生活を送ることができれば反対はしません。
- この前の説明会に行けなかったのですが、どの様な話し合いがあったか知りたい。
- 統計予測でどの学年の人口・何人の学級になるのか分からないので。また、統合にあたりスケジュールが明確でない為。何を元に判断をして良いかわからない。
市の教育費を集中して(合計して)割り当ててもらえ子どもたちの教育環境を良くして頂けるのなら、3校同時統合も選択肢としてありだと思えます。
- これから全国的に人口減少・高齢者時代に入っていきますが、企業でも事業計画で一般的に行われている。いわゆる「選択と集中」の対応を検討されているのであれば、その内容も明示されてはいかがでしょうか？説明会で反対意見が多く感じられましたが、それは子供目線のみで話されていたため「変化」をきらう人としてあたりまえの反応では。税金の有効利用にまで言及した「大人目線」からのアプローチも説明されてはどうでしょう。

●最後に、建物もメンテナンスにお金がかかりますが、3校が1校になれば残りのお金を教育用具に予算が使えるのではと期待しております。

●初南小は特に人数が少ないとは思いません。子供たちのこれから入学してくるであろう人数を調査してからでも良いと思います。

●いつがよいのかはわかりません。現在の学校への通学にも時間がかかるのに（毎朝7:00に出ています）さらに通学に時間がかかるのは、子供にも負担がかかるので賛成しかねます。何かいい対応をしてくれるようでしたら考えも変わると思います。

●（統合の時期）湯日小と初小はH34年度、初南小は1学年1クラスが続く時から。湯日小は子供が少なく複式学級を行っているので初倉小学校との統合が望ましいと思います。

●初南小は、今現在1, 2年生は1学年50~60人の児童がいてちょうどいい人数だと思います。12月13日の説明会のグループ別討議の中でH34年度の初南小の児童数は今の10人減くらいの人数かどうかがありました。大きく児童数が減るわけではないのでH34年度に3校同時に統合する必要性は全くないと思います。

●初南小の統合は子供が減り1学年1クラスが続くようになってからで良いと思います。

●人数が多くなりすぎる。今ぐらいの人数がちょうどよい。

●とりあえず絶対反対！！

子供の数が極端にないわけではないのに統合する意味がわからないし、今ぐらいの人数の方が先生の目が行きとどいてくれるから。

●統合するくらいなら引越したいです。署名運動を実施します。

「子供を最優先にした学校づくり」←あくまでも言いわけにしか聞こえない！！

●学校再編の説明会に参加できなかったため、統合の目的がよくわからない。3校統合で小中一貫校になるのか？市の方針のもとに各学校が動いているのであれば、統合してもしなくても一緒ではないか。自宅から距離が近い学校に通わせたい。

●行事にしても授業にしても現状がちょうどいいと思います。今回のアンケート結果もしっかり公表していただけるのか。先日の説明会でも新校舎にするかは不明と聞いていたが。（グループトークでは）最後の話では、初小の公金を使用する言い方でした。当事者の意見は通らず、一方的に決定されそうで、不信感しかありません。

●（統合の時期）必要に応じて。

現時点では、統合を急ぐ理由が見当たらない。統合することによる南小地区の家庭への負担は相当に大きいです。

●途中で学校をかえたくない（通学が不便）

●小学校が遠くなってしまい、危険が多くなる。

●子供の教育がすみずみまでいきわたらない。今までどおり少数のクラスの方が良い。現在、兄弟が在学中ですが、少人数で先生方がとても丁寧に見ていただいているので。

●デメリットしか思いつかないので、メリットがわからない。委員会の都合でH34年ですか？今すぐ統合の必要性がないと思う！

- 全てを統合しなくてよい。通学しやすい距離にあった学校が、統合により遠くなる。車通りが多い道を利用しないといけないなど危険が多い。統合するなら統合するで、しっかりと通学の事まで考えて頂きたい。(スクールバスを出すなどの先を見越した所まで) 子供の安全を考えて下さい。
- 人数が増えると、子供の様子と一人一人見るのは大変になるのではないかと思います。
- 登校距離が遠過ぎる。
- 湯日小の子はバスを利用できると良いと思う。
- 初倉小学校と初倉南小学校は統合せず、湯日小学校に通学する児童はどちらかの小学校へ通うか選択する。要望として、3校の統合が決定した際には遠方の児童に支障がないようスクールバスの設置をしてください。
- 初南小が1クラス数名になって、本当に統合が必要になった時。それまでは現状で充分。必要ない。
- 片道1時間をこえる通学時間は負担の方がおおきいのではないのでしょうか。昔と今はちがいます。お金の事ではなく、子供の事を考えて下さい。初南小は現状で良い部分もたくさんあるので、わざわざ、不安要素のたくさんある統合をする必要はないと思います。”
- 湯日小は人数が少ない為、統合した方が良いと思います。初南小は統合する理由が分かりません。今の人数だったら、現状のままで良いと思います。不審者情報も多い現状で、通学距離が長くなり不安しかありません。
- 少人数で行き届いた教育をしてほしい。統合するなら1クラスの人数を少なくするか、補助の先生を設置してほしい。
- 統合しなくてよい。するのであれば、湯日小はそのままで初小を初南小に統合すればいいと思う。その地域の良い所が沢山あると思うので、全てが一貫となると、全く子供たちの事を考えていないんだなあと感じる。人数が多くなる事ってそんな大事なことなのかギモンです。
- 初南小も一緒になるとは思っていなかった。初小・初南小の2校のイメージがあったので、子供の数がそれだけここ数年で変わるってことなんですか？

■統合全般について

- ・原案では初倉小・湯日小の2校の話であったが、いつの間にか初南小も含む3校の話になっていた。なぜ急に変わったのか理由が分からない。
- ・地域から3校同時を望む声があったというが、どこから意見がでたのか。
- ・統廃合は全国的に進められているが、どのようなメリット・デメリットがあるのか？
- ・2校同時統合、3校同時統合それぞれのメリット・デメリットは？
- ・説明でメリットしか言っていない。マイナスのイメージしかない。
- ・デメリットが大きく見えてしまう。
- ・デメリットが受け入れられない。
- ・大人のメリットではなく、子のメリットは？子のデメリットのケアは？
- ・メリット・デメリットの具体的な説明がないとわからない。
- ・現状のメリットがある中で統合のメリットがどう勝るのか、どう良くなるのか。
- ・具体的な根拠資料、統合した場合のメリット・デメリットの資料がほしい。
- ・初倉小と湯日小が統合するイメージしかなかった。
- ・初南小を後から統合するよりも3校同時統合のほうがいいのか？
- ・資料をみたが意味がわからない。
- ・統合の時期が早すぎるのではないか。賛成できない。
- ・初倉小の校舎も古いのではないか。
- ・現在初南小は施設面では問題ないので、このまま使い続ければよいのではないか。
- ・跡地利用はどうなるのか。
- ・今からでも「統合しない」という選択肢は残っているのか。
- ・具体的な説明がなくわからない。
- ・統合したらいじめや登校拒否が発生するのでは。
- ・コスト削減のイメージが強い
- ・初南小に行きたくて引越した人もいる。
- ・初南小地区で家を探していた。
- ・引越しの際、初倉小と初南小学区でかなり検討した。
- ・統合がこども優先なのか？
- ・湯日小が早く統合したがっているから、初南小も一緒に統合というイメージがある。
- ・初倉小の校舎が古く、防災として安全なのか。
- ・初倉小と湯日小の統合のみと思っていたので驚いた。
- ・湯日小は複式学級があったりするので、初倉小と統合するのは分かるが、初南小が初倉小、湯日小と一緒になった場合と現状とどちらが勝（まさ）っているのか。
- ・H34の時点で、どの程度人数が減るのか。
- ・市は子供を増やそうとしているので、統合することに矛盾を感じる。
- ・冒頭で決定したわけではないといったが、既に決定しているような印象を受け、不信感がある。
- ・統合ありきの説明ではないかと感じる。
- ・H34統合ありきのような気がする。（意見多数）

- ・子供のことは後づけで、統合ありきに聞こえるし、今回のアンケートもそう感じる。
- ・平成34年度統合は決定事項のように感じる。
- ・決まってないと言いつつH34とあり、初南小が乗っかってる感がある。(意見多数)
- ・前回アンケートを取り、今回H34と言われ、ついていけない。
- ・H34はすぐだけど、話はどこまで進んでいるのか。
- ・初南小がそんなに急ぐ必要はあるか
- ・小1、2年の子が途中で環境が変わってしまうが、子供のためになるのか(意見多数)
- ・個人的には、自分の子供の事情により統合はうれしい。しかし、別の機会に初南小の来年のクラス数は3か4と聞いたので、全体を見るとH34は早いかなと思った。
- ・初南小は初南小のままでよい。
- ・むしろ初南小に統合されれば良いのではないか。
- ・反対が多ければH34はやめるのか
- ・学力向上よりも、子供が安心して行ける環境にしてほしい。
- ・どの様なスケジュールで最終的にいつ判断するのか
- ・統合を決めるのはいつか
- ・初南小で特に不自由なことがないので、このままで良い。
- ・これまで色々な会議があったと聞いたが全く知らなかった。
- ・なぜ平成34年度なのか?
- ・前回「くらら」での説明会では、初倉南小の統合の話はなかった。
- ・突然34年度と言われ、とても驚いている。
- ・市役所サイドの一方的な計画だと思う。
- ・平成34年度に3校合同合併は、間に合うのか?
- ・具体的なスケジュールを示してほしい。
- ・平成34年度に統合する理由は何か。
- ・何の資料もなく意見をきかれても困る。
- ・湯日小基準では?
- ・湯日小の親と話す機会があったがその親も統合に反対で、少数の方は大人の目が行き届いて安心とのこと。
- ・自分や家族が卒業した初南小に自分の子も行つて欲しいと言う思いもある。
- ・統合して空いた学校はどう活用されるのか
- ・児童数、クラス数が減ってから統合を考えてもよいのではないか。
- ・児童数、クラス数等が実際にどうなっていくのか資料がほしい。
- ・初倉小地区はどう思っているのか。受け入れてくれる感じなのか
- ・初倉小を基準にする必要はあるのか。
- ・初倉小への統合ではなく、初南小への統合ではダメなのか。
- ・2段階の統合が負担との話があったが、湯日小と初倉小の統合はそんなに負担はないのではないか。いずれ初南小も統合されるとしても、そんなに短いスパンで行うことはない。
- ・統合すると教師はどうなるのか? 教師は引き継がれるのか?
- ・初南小で築いてきた教師との信頼関係がなくなるのは困る
- ・授業の進み具合が学校により違うと思う
- ・市民の税金を3校の学校へ充てるより、1校へ充てた方が良いことがあるということも

理解はできるが、これにより子ども達にどんなメリットがあるかを具体的に示してほしい。

- ・統合よりも、学区の再編を考えるべきではないか。
- ・賛成、反対は分からないが、今でなくてもいずれ統合になって初倉南小がなくなるのであれば、卒業した母校がなくなるよりは、長く伝統が残る学校に通えるという考え方もある。
- ・4年前に初倉南地区に引っ越してきたので地区のことは分からないが、あいさつができてよい学校だと感じる。
- ・今の初倉小に通学するのは心配。
- ・初倉地区の真ん中に新しい学校ができればよいのではないか。
- ・1週間前に統合の話聞いた。できれば残って欲しい。

■通学について

- ・通学距離が伸びることが不安。
- ・通学距離が遠くなる。
- ・朝も早く、特に小1は体力も心配
- ・登下校（安全確保）や日常生活の話がなかった。賛成しかねる。
- ・初南小の児童が初倉小へ通うとなると、全員徒歩通学となるのか？
- ・ランドセルを背負って長距離を歩くのは負担になるのでは（特に低学年）。
- ・通学時間が長くなることにより、朝早く起きる必要があり、場合によっては登校を渋る児童もいるのではないか。また、帰宅が遅くなることにより、家庭での勉強、遊びの時間が減ってしまうのでは。
- ・初南小から初倉小へは徒歩で何分かかかるのか調べておくべき。
- ・現在は見守り隊が活発に活動しているが、今後もそのまま継続されるとは限らない。
- ・登下校の際、大きな道路を越えて通学するのが心配。
- ・友達も（学区も）広範囲になるので、放課後子供が出かけるのが心配。
- ・現在自分の子は自宅-学校間に距離があることが不安なため、学校に特別に許可をもらいGPSをつけている。（初倉小に通うのも距離があるので不安）
- ・統合となった場合、うちの子は通学で交通量の多い道路を2本渡らなければならない。スクールバス等通学の援助はあるのか、とても不安。
- ・スクールバスを出すくらいなら、初南小のままで良い。バス代はどうなるのか。
- ・バスとあるが、コミバスでもスクールバスでも事故が心配
- ・自分は南原に住んでいるので、歩きで聞ける初南小に行けたらと思っている。
- ・通学の安全の確保を十分に考えてほしい。この辺りは農道が多く暗いし、また、交通量の多いところもある。
- ・子供の成長の発達を考えると歩いて通わせるのが良いと思う。ただし歩いて登下校できる距離に学校はあってほしい。
- ・学校まで遠いのが心配。現状、初南小まで20分だが、初倉小までは40分かかかる。
- ・通学の負担があり、遠いところでは徒歩45分かかかることもある。

■クラス人数について

- ・今よりも1クラスあたりの児童数は増えるのか？
- ・人が増えることにより、高学年では教室がいっぱいになってしまうのではないか。
- ・統合したとして初倉小の施設（クラス数）に余裕があるのか。
- ・人が増えることにより、児童間の距離が近くなり、小競り合いが増えるのでは。それに対するサポートも必要。
- ・人が増えることにより、先生が一人ひとりを見きれないのでは。それにより学力が落ちないか不安。
- ・9年間同じメンバーとなるデメリットは？
- ・現在1クラス25人で学年2クラスの状態で初南小の学級数はほどよい人数だと思う。今の段階で無理に統合する必要はないかも。
- ・今の初倉南小がちょうどよい規模だと思う。
- ・人口推移など根拠が欲しい。今後の人口推移や今後の傾向を示した上で、いつ統合するか改めて決めればよいのではないか。
- ・初倉南小は、学習発表会も全員参加で行うし、たてわり活動などよいところがあるが、統合で学校の良い特色がなくなるのが心配。
- ・1クラスあたりの学級数が統合するとどうなるのか。人数が多くなると、先生の負担も増えるし、学習面でわからないときなど、丁寧に面倒をみてくれもらえるか心配。
- ・学校の子供の人数が少なくなってきたら、最終的には統合も視野にいれるべきだと思う。
- ・少数のメリットがある中、1クラス30人になった時に先生が見きれぬのか
- ・自分はマンモス校出身なので、統合によって大きくなることのメリットも分かるが、少数のメリットもあるので、反対でも賛成でもない。
- ・知り合いの湯日小の子は女の子が少なく不登校になってしまったことがあり、その場合だと人数が多い方が友達が多くなって良い。
- ・統合した場合、何クラスになって、1クラス何人になるのか（意見多数）
- ・自分が小さい小学校から大きい中学校へ進学したので、あまり小さい学校だと中学校へ行ってから子供が大変なこともわかる。
- ・小人数でのメリットもある。
- ・すごく減るわけではないのなら、必要ないのでは。

■教育について

- ・現在の初倉小、初南小、湯日小の特色や教え方のギャップをどう埋めていくのか。
- ・教育的なメリットが感じられない。
- ・3校のカリキュラムのすりあわせができるのか。
- ・学習の進度はそれぞれの学校であわせられるのか。
- ・それぞれ、学校の雰囲気も違うと思うが。
- ・子供の環境については、低学年か高学年かでも適応力が変わる。
- ・初倉地区で小中1校となると、中学校に上がっても顔ぶれが変わらない。
- ・小学校各校の特色があって、中学校で合わさって多様になる。
- ・小中一貫の意味がわからない。メリットも。

- ・小中一貫校になると、（いじめ等）逃げ場がなくなるのでは？
- ・授業の進み具合が学校により違うと思う。
- ・話合いで子の学びの場のアイデアを大人たちで出し合っていきたい。
- ・統合に費やす準備が通常授業に影響するのではないか。

■説明会について

- ・実際ここでの意見は反映してくれるのか（意見多数）
- ・今回のアンケートは集約して、数字を提示してくれるのか。
- ・今回のアンケートの期限が20日では短い。本当に聞く気があるのか
- ・今回のアンケートは集計したら、また説明会はあるのか。
- ・今日の説明会は、急だった（開催通知をもらってから当日までの期間が短い）し、平日で、来られる人ばかりでない。話を聞きたいならもう少し日時を考えるべきではないか。
- ・説明で「くらら」で行ったときに意見があったとあるが、どのくらいなのか。何割かとか。
- ・アンケート結果や今日の意見を取りまとめたものが欲しい。次の今日のような会議のときの資料としてほしい。

H30.12.17

- ・現在、南原に住んでいる。2年前に島田へ転入した。自分は1600人規模の小学校で過ごした。小学校6年生のとき、焼津に引越した。焼津の小学校に通っている時は45～50分通学に通って、冬の帰宅時は真っ暗になり、変質者も出たりした。
- ・自分は統合に反対でも賛成でもない。いろいろな多くの先生に対応してもらうことができる大規模校のメリットも自分は理解できる。
- ・メリット、デメリットの拾い出し(友人関係や学校内の役割など)、学校の目指す姿の前に、通学路となる場所の安全確保をお願いしたい。
- ・子供と同じスピードで、同じ時間帯に大人が登下校を体験する必要がある。
- ・19時以降、初倉の商業施設へはいろいろな人が来て、大人がいる時は気をつけることができるが、下校時など最終的に子供が一人で家に帰ることを考えると心配になる。
- ・不審者や変質者が悪さしないようになる地域の雰囲気醸成が先である。
- ・冬場の暗さ、防犯カメラ、見守りパトロールなど地域の安全を考慮した上での統合にして欲しい。島田はゴミ捨てなどや便利な面があり、とても住みやすい町だと思う。
- ・自分はずっと初倉地区に住み初倉小に通った。(現在は月坂在住)
- ・初小は見守り隊が熱心に活動しているが、下校時の活動は地域性がある。自分の意見としては、
 - ① 登下校の安全性の確認をして欲しい。自分の仕事上、道路工事等で警察に申請に行ったりするが(警察で保管している)通学路の地図が古かったりする。歩道のない通学路もある(歩道をこれ以上増やすのは無理だとは個人的に思っている)。最終的には1人になって帰る子供もいる。
 - ② 統合の受け入れ先を初小にするのはどうかと思う。初小は築山を崩す以外、施設の拡張ができないのではないかと。初南小なら施設を大きくすることができると思う。
 - ③ 統合については、仕方が無いと住民の方は思っている。ただ、小学校は避難所でもあるので、統合後の施設についても地区の人は不安に思っている。跡地利用の話も同時に出してほしい
- ・昨年島田へ引っ越してきた。(井口在住)統合は3つの理由から反対である。
 - ① 「クラス数が多い方が、学級編制に柔軟性を持たせることができる」とのことだが、先生が楽をしているのではないかと。少ない人数のクラスでも先生が一生懸命子供と向き合って指導すれば問題ないと思う。
 - ② H27年に初小を改築したというが、なぜ改築したのか。初南小の改築も考えて欲しい。
 - ③ 児童数推計表は13日(保護者意見交換会)にはなかった。これを見ると初南小がすぐ統合する理由がない。
- ・生徒数の減少とともに、島田市は今後小中一貫校を推進していくと話があったが、小中各1校が推進していくことが望ましいのか?
- ・今までの意見は、教育に関する問題と、住環境に関する問題があった。学校統合をする上で心配している交通リスクや各種危機管理の問題について教育委員会だけでなく市全体で議論をした上で回答を持ってきていただきたい。
- ・人口推移の表だが、住民基本台帳の数字以外に土地計画や不動産の情報を加味した数値か?
- ・12/13の説明会に参加した。「統合ありきの話である。通学距離が長くなる」等の保護者

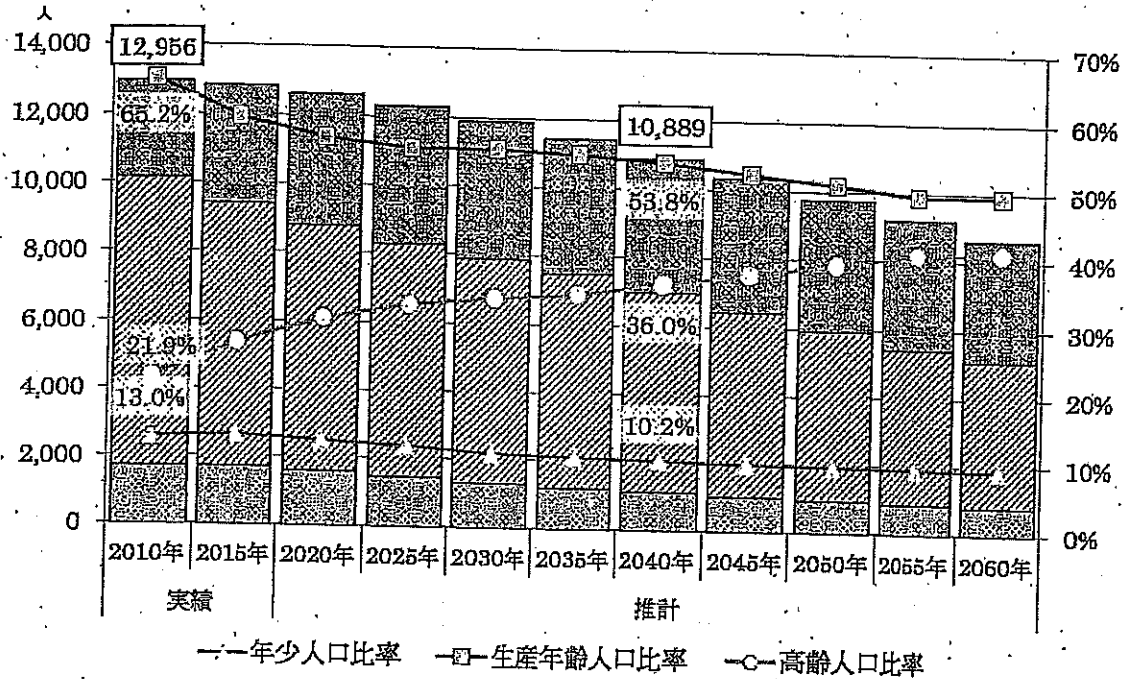
- からの意見は理解ができると考えている。それも含めて統合推進に賛成である。
- ・ 子供たちの学習できる環境は、クラス編制ができる生徒数が望ましいとのことだが、初小、初南小いずれも1校12クラスができなくなる時期がいずれ来る。早い段階で1つの小中となることで小中の学校の連携がとれ、中学の先生が小学校に入ることによって専門の教育（教科担任制の導入）ができたり、外国人英語講師を専属で配属したりできるほか、中一から増加するといわれている不登校を増やさない環境づくりができる。
 - ・ 時期が早いと言われる保護者もいるが、もう少し先をみた中長期的な見方も考えて欲しい。統合と跡地の利活用の話が出たが、学校の統合の問題がぼやけるのでまずは学校の統合について話をするほうが良い。跡地利用は、初倉を大きく変えるチャンスでもある。
 - ・ 統合の時期が早いと思う。
 - ・ 9月の時点で初南小の統合の話がなかったと思う。「まず初小と湯日小が統合、ゆくゆくは初南小も。増築が必要」とあったが、急に話が変わったと思う。湯日小は子供たちのことを考えて、統合は理解できるが、初南小も入れての統合は各学校の教育のすり合わせ（ソフトランディング）の期間が短くないか？3校で2年は短いと思う。考えが変わった理由を聞きたい。
 - ・ 3校統合は唐突だな、という印象。湯日小は保護者も子供がかわいそうとの声もあり、早く統合したらいいと思うし、昔から話があった。
 - ・ 初南小の場合、H34年に一緒になるのが無理だと思う。
 - ・ 湯日小を統合し、北部が統合した後に初南小を統合するのでよいのではないか。
 - ・ 小中一貫のよさはわかるが、H34は無理。
 - ・ 井口の見守り隊に参加している。学校は子供と地域を活性化する源である。
 - ・ 統合については市から話をするのは初めてだが、地元では話が出ていた。教育委員会が汲み取ってくれたのか。
 - ・ 以前、25年後の人口推計の資料を市からもらった。現在初倉地区は、家が増加しているが人口は12,800~12,900で横ばいである。市の提供した資料は1歳児の人口で、今とれる最大限の数値だと思う。
 - ・ 人口は減ることは間違いがない。近い将来よりはもっと先をみて考える必要はある。
 - ・ この意見交換の答えはいつもらえるのか？
 - ・ 気になるのは、初倉小への統合ありき（初倉小に詰め込む）と聞こえる。
 - ・ 子供たちの将来を考えるのであれば、予算を確保して使うことも大事。
 - ・ 統合後、初小にコンパクトにまとめるという話だが、子供たちが校舎を移る時、施設を改築して欲しい。
 - ・ 3校統合するのであれば、ここにきて良かったという施設にしてほしい。

資料6

平成27年島田市政・ひと・しごと創生人口ビジョン
「地区別将来人口推計」の

【初倉地区】

■人口及び年齢3区分別人口推計



■推計結果

		総人口 (人)	年少人口 (人)	生産年齢 人口(人)	高齢人口 (人)	年少人口 比率	生産年齢 人口比率	高齢人口 比率
実績	2010年	12,956	1,684	8,441	2,831	13.0%	65.2%	21.9%
	2015年	12,856	1,705	7,695	3,456	13.3%	59.9%	26.9%
推計	2020年	12,639	1,583	7,194	3,862	12.5%	56.9%	30.6%
	2025年	12,309	1,456	6,832	4,020	11.8%	55.5%	32.7%
	2030年	11,892	1,292	6,585	4,014	10.9%	55.4%	33.8%
	2035年	11,417	1,199	6,275	3,944	10.5%	55.0%	34.5%
	2040年	10,889	1,110	5,858	3,921	10.2%	53.8%	36.0%
	2045年	10,340	1,025	5,423	3,892	9.9%	52.4%	37.6%
	2050年	9,782	947	4,985	3,851	9.7%	51.0%	39.4%
	2055年	9,208	875	4,560	3,773	9.5%	49.5%	41.0%
	2060年	8,638	810	4,280	3,548	9.4%	49.5%	41.1%

資料 7

●初倉地区学校別学年別児童数推計【学区内住基実数値】

H30. 4. 1 現在

年度	学校名	児童数								
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	計	合計
2019 (H31)		1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	計	合計
	初倉小	65	55	48	56	51	49	14	338	688
	初倉南小	43	52	59	51	56	51	—	312	
	湯日小	5	4	7	6	4	12	—	38	
	計	113	111	114	113	111	112	14		
クラス数	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(3)		(27)	
2020		1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	計	合計
	初倉小	57	65	55	48	56	51	(10)	332	688
	初倉南小	64	43	52	59	51	56	—	325	
	湯日小	5	5	4	7	6	4	—	31	
	計	126	113	111	114	113	111	(10)		
クラス数	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(3)		(27)	
2021		1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	計	合計
	初倉小	52	57	65	55	48	56	(10)	333	680
	初倉南小	47	64	43	52	59	51	—	316	
	湯日小	4	5	5	4	7	6	—	31	
	計	103	126	113	111	114	113	(10)		
クラス数	(3)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(3)		(26)	
2022 (H34)		1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	計	合計
	初倉小	44	52	57	65	55	48	(10)	321	667
	初倉南小	50	47	64	43	52	59	—	315	
	湯日小	6	4	5	5	4	7	—	31	
	計	100	103	126	113	111	114	(10)		
クラス数	(3)	(3)	(4)	(4)	(4)	(4)	(3)		(25)	
2023		1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	計	合計
	初倉小	71	44	52	57	65	55	(10)	344	674
	初倉南小	45	50	47	64	43	52	—	301	
	湯日小	5	6	4	5	5	4	—	29	
	計	121	100	103	126	113	111	(10)		
クラス数	(4)	(3)	(3)	(4)	(4)	(4)	(3)		(25)	
2024		1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	計	合計
	初倉小	58	71	44	52	57	65	(10)	347	664
	初倉南小	41	45	50	47	64	43	—	290	
	湯日小	2	5	6	4	5	5	—	27	
	計	101	121	100	103	126	113	(10)		
クラス数	(3)	(4)	(3)	(3)	(4)	(4)	(3)		(24)	

※特別支援学級の人数は、各年10人3クラスと推計している。(合計人数の外数)

初倉小、初倉南小、湯日小学校の再編について

1 学校再編のメリット・デメリット

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> ・適正規模の集団により、多様な考えに触れ、協力し合い、切磋琢磨することで、新学習指導要領で言うグローバルな力を育てる教育が充実する。 ・児童生徒の人数が多いことで、行事等の教育活動が活気に溢れる。 ・人間関係を配慮した多様なクラス替えができ、毎年気持ちを新たにできる。 ・専門的な教職員の配置が可能になり、レベルの高い指導が受けられる。 ・保護者が多いことで保護間の交流が広がり、多様なPTA活動が可能になる。 ・小規模校では予算的に難しい行事等を企画したり、著名な講師を呼んだりすることができ、一つの事業で多くの児童生徒が効果を楽しむことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動の中で、一人一人が活躍する場や機会が減少する。 ・同学年でも、深い関わりが持てない児童生徒がいるなど、人間関係が希薄になることがある。 ・教職員1人に対しての児童生徒の人数が増える。 ・通学距離が長くなりスクールバスや地域との連携など登下校の安全対策が求められる。

2 小中一貫教育のメリット・デメリット

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> ・特色のある教育課程を、小学校から中学校まで一貫して組むことで、より高い教育的成果を上げることができる。 ・小学校から中学校への接続が円滑に行うことができ、中1ギャップが解消されるなど、不登校の減少につながる。 ・中学校の教員が小学校高学年を教えるなど専門性の高い授業を行うことで、小学校への教科担任制の導入も検討できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト点を上げるためだけの小中一貫教育ではないため、目に見えて成果を実感しにくいところがある。 ・校舎一体型の小中一貫教育ではないため、交流授業や教員の兼務などについては、教員免許や学校間の移動の関係で実際は限度がある。

